

## 歴史遺産活用事業

### 1. 滝畑ふるさと文化財の森センター活用事業

文化遺産を後世に伝えていくために文化財の保存修理に地産地消の考え方を取り入れ、植物性屋根葺材の確保と資材に関する技能者の養成、また、その意義を普及啓発することを目的として、下記の事業を実施した。

#### (1) 茅刈り・山焼き事業

植物性屋根葺材の確保のため、滝畑地区と協働し、岩湧山茅場の茅刈り作業を平成28年3月に実施した。

(刈取り束数 2,200束) また、翌年のカヤ育成のための山焼きを実施した。

#### (2) 滝畑ふるさと文化財の森センター運営管理

① 資料館 入館者数 4,547人

② 研修宿泊施設管理運営業務

利用者内訳	市内		市外		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
こども会	11	330	0	0	11	330
小・中学校	12	779	5	183	17	962
高校・大学	4	97	30	996	34	1,093
幼稚園・保育所	14	314	25	751	39	1,065
青少年育成団体	27	1,637	9	280	36	1,917
その他	34	946	64	2,034	98	2,980
合計	102	4,103	133	4,244	235	8,347

### 2. 歴史遺産活用事業

市内の文化財の現地公開、講演会等を行い、市の魅力の発信、市民の地域に対する関心と愛着を育む。

#### (1) 連続講座「高野山巡礼と高野街道～1200年の歴史と庶民信仰～」

高野山開創1200年を記念した連続講座を平成27年10月6日(火)[181名]・10月20日(火)[186名]・27日(火)[165名]・11月10日(火)[158名]・11月17日(火)[143名]の日程で開催した。平成27年10月13日(火)には高野山で現地見学会を開催し、43名が参加した。

#### (2) ぐるっとまちじゅう博物館2015

市域全体を博物館とみたち、各年度で地域を設定して文化財を現地公開する「ぐるっとまちじゅう博物館」について、平成27年度は高野街道沿いの文化財を訪ね歩くウォーキングを実施した。平成27年12月12日(土)・13日(日)の間で約170人の参加者を得た。

#### (3) 郷土・歴史学習事業

学校との連携事業として、市立小学校13校の3年生～6年生・市立中学校4校の1年生を対象として、年間59回、文化財担当職員が小中学校で郷土の歴史について解説を行った。

#### (4) 文化財普及啓発図書刊行事業

発掘調査の結果をもとに市内の文化財について、より理解を深めることを目的とした普及啓発図書を刊行した。

・シリーズ河内長野の遺跡10「かわちながの炭ものがたり」

#### (5) シンポジウム「奥河内の中世的世界～寺社権力と守護権力～」の開催

歴史文化基本構想啓発のため、平成27年12月5日(土)に、中世の寺社と守護の地域権力の在り方について理解を深めることを目的としたシンポジウムを実施した。

### 3. ふるさと歴史学習館事業

#### (1) ふるさと歴史学習館展示

常設展示と特別展示室・エントランスなどで、延べ9回の企画展示を実施した。

〈エントランス展示〉

- ・「百味飲食～天野山金剛寺 正御影供～」：4月11日（土）～5月22日（金）期間中入館者数：1437人
- ・「くろまる館歴史クイズ むかしの道具」：7月18日（土）～10月4日（日）クイズ体験者数：336人
- ・「甦る油屋旅館」：10月10日（土）～12月23日（水・祝）期間中入館者：1950人
- ・「ありがとう綿の里親さん！～綿の里親プロジェクト2015～」：2月13日（土）～3月21日（日）期間中入館者数：553人

〈収蔵庫展示〉

- ・「節句幟」：4月18日（土）～6月12日（金）期間中入館者数：1662人

〈特別展示室展示〉

- ・「南河内の縄文展 河内長野編」：5月27日（水）～7月5日（日）期間中入館者数：753人
- ・「河内長野に残る空海の記憶」：7月18日（土）～9月27日（日）期間中入館者数：1556人
- ・「高野街道十八景～気まぐれ歴史散歩～」：10月10日（土）～12月23日（水・祝）期間中入館者数：1950人
- ・「紺屋型紙 こんな模様もありませ～道具編～」：1月23日（土）～5月20日（金）期間中入館者数：2360人

#### (2) ふるさと歴史学習館講座

- ・企画展示に関連した講座など、5回の講座や体験教室を実施し、計257人の参加者があった。

#### (3) ふるさと歴史学習館施設管理運営業務

市内で行った発掘調査の整理作業と共に、市民の郷土理解を深めるため、歴史・芸術・民俗などに関する資料を収集し、保管・展示を行った。展示など館運営にはボランティアの協力を受けた。入館者は7632人であった。

#### (4) 館蔵品の保存修理

中尾牧場引札と萬覚帳について保存修理を行った。

### 4. 河内長野市指定文化財旧三日市交番活用事業

河内長野市指定文化財旧三日市交番について三日市小学校区連合町会との協働によって施設の管理・運営を行い、施設内でのパネル展示、文化財展示を行った。

#### (1) 河内長野市指定文化財旧三日市交番管理事業

- ・開館日数 136日 入館者数 3,438人
- ・春期特別開館 「高野街道のみどころ」  
5月16日（土）～5月24日（日）
- ・秋期特別開館 「高野街道の魅力 再発見」  
10月24日（土）～11月1日（日）
- ・第1期常設展「高野山にいたる道～高野街道～」 4月から7月
- ・第2期常設展「三日市の民俗行事2～夏から冬～」 「市内に残る戦争の記憶」 8月から11月
- ・第3期常設展「三日市の文化財3～古墳時代の三日市～」 12月から3月

#### (2) 河内長野市指定文化財旧三日市交番PR事業

河内長野市指定文化財旧三日市交番で行う事業をPRするために、PR用の立て看板を作成した。

### 5. 「文化財のまち」啓発事業

ふるさと歴史学習館が収蔵する「紺屋型紙」を高精細デジタル画像化したデータを使用して、デジタル画像製品（付箋）を作製し、文化財デジタル資料の活用を行った。また、ふるさと歴史学習館・市役所情報センター・滝畑ふるさと文化財の森センター等で販売を行い、「文化財のまち」としての普及啓発を行った。

## 6. 史跡烏帽子形城跡整備事業

平成23年度に国の史跡に指定された烏帽子形城跡について、サイン整備、遺構の整備、間伐等を行った。

### (1) 石柱設置工事

「国指定史跡 烏帽子形城跡」と刻んだ石柱を烏帽子形公園駐車場入り口付近に設置した。

### (2) 地下遺構（礎石建物）の地上明示工事

過去の発掘調査で見つかった2棟の礎石建物を地上明示するために、遺構面保護のための盛土の上に、礎石の配置を忠実に再現した。

### (3) 史跡内の樹木の間伐工事

頂上からの眺望を確保し、山城遺構の形状を見やすくするために、樹木の間伐等を行った。

## 7. 河内長野市歴史文化基本構想の策定

歴史文化基本構想とは、地方公共団体の文化財保護のマスタープラン（最上位の計画）として、地域の文化遺産を総合的に保存・活用していくための指針となる構想である。市内にある文化遺産を計画的に保存・活用するために、構想の策定を行った。

### (1) 河内長野市歴史文化基本構想等策定委員会の開催

平成27年10月16日（金）に第5回河内長野市歴史文化基本構想等策定委員会を開催し、「河内長野市歴史文化基本構想の策定について」答申を受けた。

### (2) 河内長野市歴史文化基本構想の策定

住民説明会、パブリックコメントの実施を経て、河内長野市歴史文化基本構想の策定を行った。

## 8. 歴史文化基本構想等策定に伴う調査事業

### (1) 市内文化財調査記録の整理

昭和49年以降、本市が河内長野市郷土研究会等に委託して行ってきた市内文化財の調査成果について再整理を行い、データベース化を行った。

### (2) 文化財現状調査の実施

過去の調査によって把握した、市内の文化財の現状調査を一部地域で実施した。